

3 今月の青果物

大玉すいか

主要産地の大玉すいかの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2023年度5月入荷量	2023年度5月シェア率
千葉	1,160 t	22.6 %
熊本	3,816 t	74.3 %
鳥取	0 t	0.0 %
山形	0 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場では、7月下旬のピークに向けて、大玉すいかの入荷が始まっています。

熊本県からは周年入荷がありますが、増えてくるのは3月以降です。熊本県のピークは5月中旬です。

千葉県は5月上旬からで、無加温のハウス物の入荷が始まります。その後、トンネル栽培の入荷が続きます。

2023(令和5)年の年間入荷量シェアは、熊本県が26.4%、次いで千葉県が18.5%、山形県が18.4%となっており、熊本県がトップのシェアを占めていますが、千葉県と山形県は僅差です。

現在は、熊本県と千葉県、茨城県、高知県から入荷があり、主産県である熊本県は、3月の天候不順により4月の入荷が伸び悩み、5月上旬まで続く見込みです。回復するのは5月中旬を見込んでいますが、前年比2割減となる見込みです。千葉県産ハウス栽培は、定植時期の遅れ等により、ピークは5月下旬となる見込みです。また、千葉県産トンネル栽培のピークは6月中旬と見込まれます。

5月の入荷量は、前年よりやや減となる見込みです。

※山形県のグラフにおける5か年平均単価は、4月下旬を除く4月上旬～6月下旬にごく少量の出荷があることから表示されています。

5月入荷予測	4,881t(前年比95.0%、平年比93.3%)		
5月価格予測	280円(前年比91.4%、平年比99.6%)		
5月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 弱い ⇓⇓	(下旬) 弱い ⇓⇓

